

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公開番号】特開 2019-69269 (P2019-69269A)
 【公開日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-017
 【出願番号】特願 2019-10550 (P2019-10550)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 3 0 Z

A 6 1 B 6/00 3 0 0 W

A 6 1 B 6/00 3 0 0 Q

G 0 1 T 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 19 日 (2019.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 次元マトリクス状に配列された複数の画素を有し、照射された放射線を画像信号に変換する放射線検出パネルをそれぞれが備えた複数の放射線撮像装置を有し、前記複数の放射線撮像装置のうちの一の放射線検出パネルにおける画素領域の一部が他の一の放射線検出パネルにおける画素領域の一部に、放射線照射側から見て空間的に重なるように配置された放射線撮像システムであって、

前記複数の放射線撮像装置の各々は、電源スイッチと、前記放射線撮像装置の状態を表示する表示部とを備え、

前記一の放射線検出パネルに係る前記電源スイッチ及び前記表示部は、前記放射線検出パネルが重なる領域を除く領域に配置されること

を特徴とする放射線撮像システム。

【請求項 2】

前記複数の放射線撮像装置の各々には、信号の送受信を行うケーブルと接続される接続部が備えられ、前記一の放射線撮像装置に係る接続部は、複数の放射線検出パネルが重なる領域を除く領域に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線撮像システム。

【請求項 3】

前記複数の放射線撮像装置の各々には、前記放射線検出パネルと電氣的に接続されたフレキシブル回路基板が備えられ、前記一の放射線撮像装置に係るフレキシブル回路基板は前記放射線検出パネルが重なる領域を除く領域に配置されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の放射線撮像システム。

【請求項 4】

前記複数の放射線撮像装置の各々は、略矩形の形状を有し、前記一の放射線撮像装置に係る前記電源スイッチと、前記表示部とは、前記略矩形の形状の同一の辺に設けられたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の放射線撮像システム。

【請求項 5】

前記複数の放射線撮像装置の各々は、略矩形の形状を有し、前記一の放射線撮像装置に係る前記接続部と、前記電源スイッチおよび前記表示部とは、前記略矩形の形状の同一の辺に設けられたことを特徴とする請求項 2 に記載の放射線撮像システム。

【請求項 6】

前記複数の放射線撮像装置の各々は、略矩形の形状を有し、前記一の放射線撮像装置に係る前記フレキシブル回路基板と、前記電源スイッチおよび前記表示部とは、前記略矩形の形状の異なる辺に設けられたことを特徴とする請求項 3 に記載の放射線撮像システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一の側面である放射線撮像システムは、2次元マトリクス状に配列された複数の画素を有し、照射された放射線を画像信号に変換する放射線検出パネルをそれぞれが備えた複数の放射線撮像装置を有し、前記複数の放射線撮像装置のうちの一の放射線検出パネルにおける画素領域の一部が他の一の放射線検出パネルにおける画素領域の一部に、放射線照射側から見て空間的に重なるように配置された放射線撮像システムであって、前記複数の放射線撮像装置の各々は、電源スイッチと、前記放射線撮像装置の状態を表示する表示部とを備え、前記一の放射線検出パネルに係る前記電源スイッチ及び前記表示部は、前記放射線検出パネルが重なる領域を除く領域に配置されることを特徴とする。